

平成20年度 第1回宇都宮市社会福祉審議会高齢者福祉専門分科会 次第

日 時：平成20年7月14日（月）

午後3時30分から

場 所：市役所14D会議室（14階）

1 開 会

2 委員紹介

3 分科会長選出

4 職務代理者指名

5 議 事

(1) 報告事項

- ・「第5次高齢者保健福祉計画・第4期介護保険事業計画」の策定について……………資料1
- ・アンケート調査結果の概要について……………資料2

(2) 協議事項

- ・「第4次高齢者保健福祉計画・第3期介護保険事業計画」の現状と課題について…資料3

6 その他

7 閉 会

【参考資料】

- 1 「第4次高齢者保健福祉計画・第3期介護保険事業計画の概要」
- 2 「第5次高齢者保健福祉計画・第4期介護保険事業計画の策定に係るアンケート調査について」
- 3 「平成20年度介護保険利用者実態調査について」
- 4 「本市の高齢化の状況と将来推計について」
- 5 「第4次高齢者保健福祉計画・第3期介護保険事業計画における施策体系ごとの個別評価」

宇都宮市社会福祉審議会高齢者福祉専門分科会

No.	区分	所 属	氏 名
1	議	宇都宮市議会議員	木村 由美子
2	社	宇都宮市社会福祉協議会会長	高梨 眞佐岐
3	社	宇都宮市民生委員児童委員協議会会長	江連 晴夫
4	社	宇都宮市居宅介護支援事業者連絡協議会会長	近藤 貴子
5	社	栃木県老人福祉施設協議会副会長	大山 知子
6	社	宇都宮市老人クラブ連合会会長	野澤 正明
7	社	宇都宮介護者の会会長	三條 安子
8	社	栃木県地域包括・在宅介護支援センター協議会会長	浜野 修
9	学	獨協医科大学名誉教授	大森 健一
10	学	宇都宮市歯科医師会専務理事	菊地 善郎
11	学	宇都宮市医師会副会長	高橋 邦生
12	学	宇都宮市自治会連合会副会長	轟蒔 邦博
13	学	栃木県看護協会会長	鯉淵 タツノ
14	学	宇都宮ボランティア協会会長	松本 カネ子
15	学	宇都宮短期大学教授	千保 喜久夫
16	社	宇都宮市介護サービス事業者連絡協議会副会長	尾崎 匡男
17	学	公募委員	手塚 智子
18	学	公募委員	山田 蒨

「第5次宇都宮市高齢者保健福祉計画・第4期介護保険事業計画」の策定について

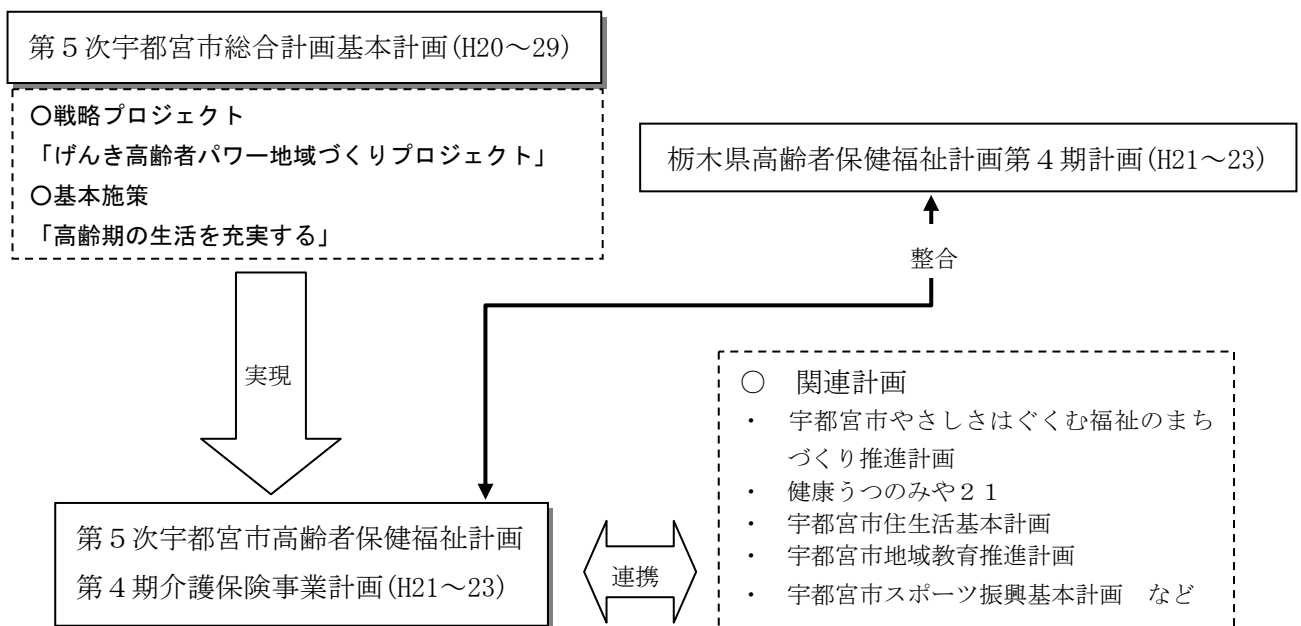
1 策定の目的

高齢社会が進行するなか、高齢者が住み慣れた地域で健康でいきいきと暮らせる社会を実現するためには、本市の高齢者保健福祉施策や介護保険事業の一層の充実を図る必要があることから、「第4次宇都宮市高齢者保健福祉計画・第3期介護保険事業計画（平成18年度～20年度）」を改定し、新たに「第5次宇都宮市高齢者保健福祉計画・第4期介護保険事業計画」を策定する。

なお、両計画は、介護保険とそれ以外の高齢者福祉サービスを組み合わせ、健康づくりや介護予防、生きがいくくり等地域における高齢者福祉向上のため、総合的に推進する必要があることから、一体的な計画として策定する。

2 計画の位置付け

- ・ 宇都宮市総合計画の個別計画
- ・ 老人福祉法に基づく市町村老人福祉計画 ※介護保険事業計画と一体的に策定
- ・ 介護保険法に基づく市町村介護保険事業計画 ※三年ごとに策定
- ・ 栃木県高齢者福祉計画4期計画との整合を図る。
- ・ 関連計画における高齢者に関する施策・事業との連携を図る。



3 計画期間

平成21年度～平成23年度までの3年間

4 検討の内容

- (1) 本市の高齢者を取り巻く現状と課題
- (2) 基本的な考え方
- (3) 施策・事業の推進
 - ① 生きがいづくり・健康づくりの充実
(団塊・シニア世代への支援, 外出支援の充実, 社会との交流促進など)
 - ② 豊かな暮らしづくりの推進
(住宅のバリアフリー化の促進, 街なか居住の促進など)
 - ③ 介護予防の推進
(介護予防・地域支援事業の充実, 地域包括支援センターの機能充実など)
 - ④ 介護保険サービスの充実
(施設の適正整備, 療養病床への再編成など)
- (4) 推進体制

5 策定体制

- (1) 庁内検討組織
 - (2) 庁外検討組織
 - (3) 市民の意見の反映
- } ※ 詳細は、別紙のとおり
- ・ アンケート調査（1号被保険者，2号被保険者，要介護認定者）の実施
 - ・ 社会福祉審議会高齢者福祉専門分科会における公募委員の参画
 - ・ パブリックコメントの実施

6 今後のスケジュール

- | | | |
|-------|-----|-----------------------------------------|
| 平成20年 | 4月 | 庁内策定委員会の設置 |
| | 5月 | 公募委員の募集，決定 |
| | 7月～ | 社会福祉審議会の開催
高齢者福祉専門分科会の開催（5回程度） |
| | 12月 | 計画案の作成
パブリックコメントの実施 |
| 平成21年 | 2月 | 社会福祉審議会からの提言書の受理
(栃木県高齢者福祉計画4期計画の策定) |
| | 3月 | 庁議付議，計画の決定・公表 |

1 庁内検討組織

(1) 策定委員会

委員長	保健福祉部次長
副委員長	保健福祉部次長（保健衛生担当）
委員 （14課室）	財政課長，政策審議室長，みんなでまちづくり課長，保健福祉総務課長，生活福祉課長，高齢福祉課長，障がい福祉課長，保険年金課長，健康増進課長，保健予防課長，商工振興課長，住宅課長，生涯学習課長，スポーツ振興課長

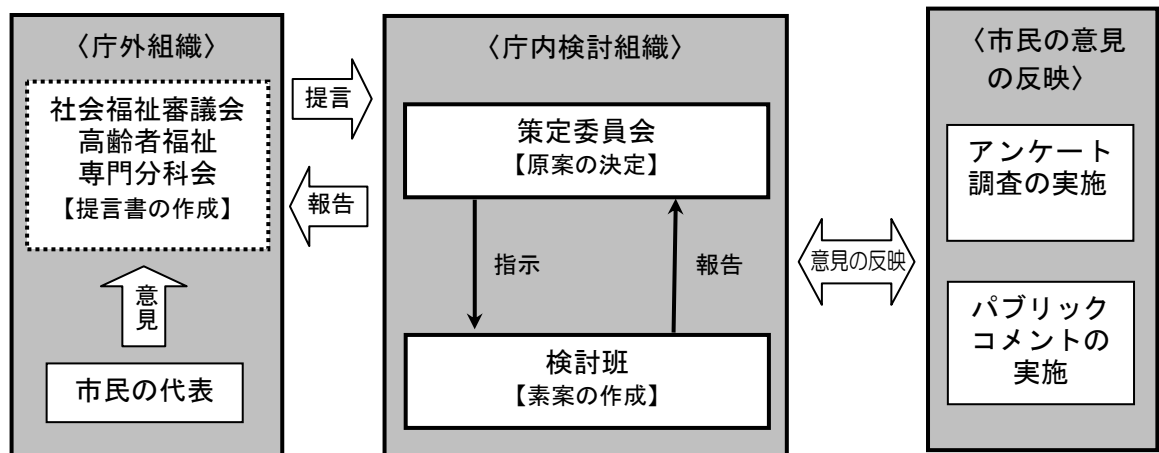
(2) 検討班

班長	高齢福祉課主幹（介護保険担当）
副班長	高齢福祉課長補佐
班員 （13課室）	財政課，政策審議室，みんなでまちづくり課，保健福祉総務課，生活福祉課，障がい福祉課，保険年金課，健康増進課，保健予防課，商工振興課，住宅課，生涯学習課，スポーツ振興課

2 庁外検討組織

- ・ 宇都宮市社会福祉審議会高齢者福祉専門分科会

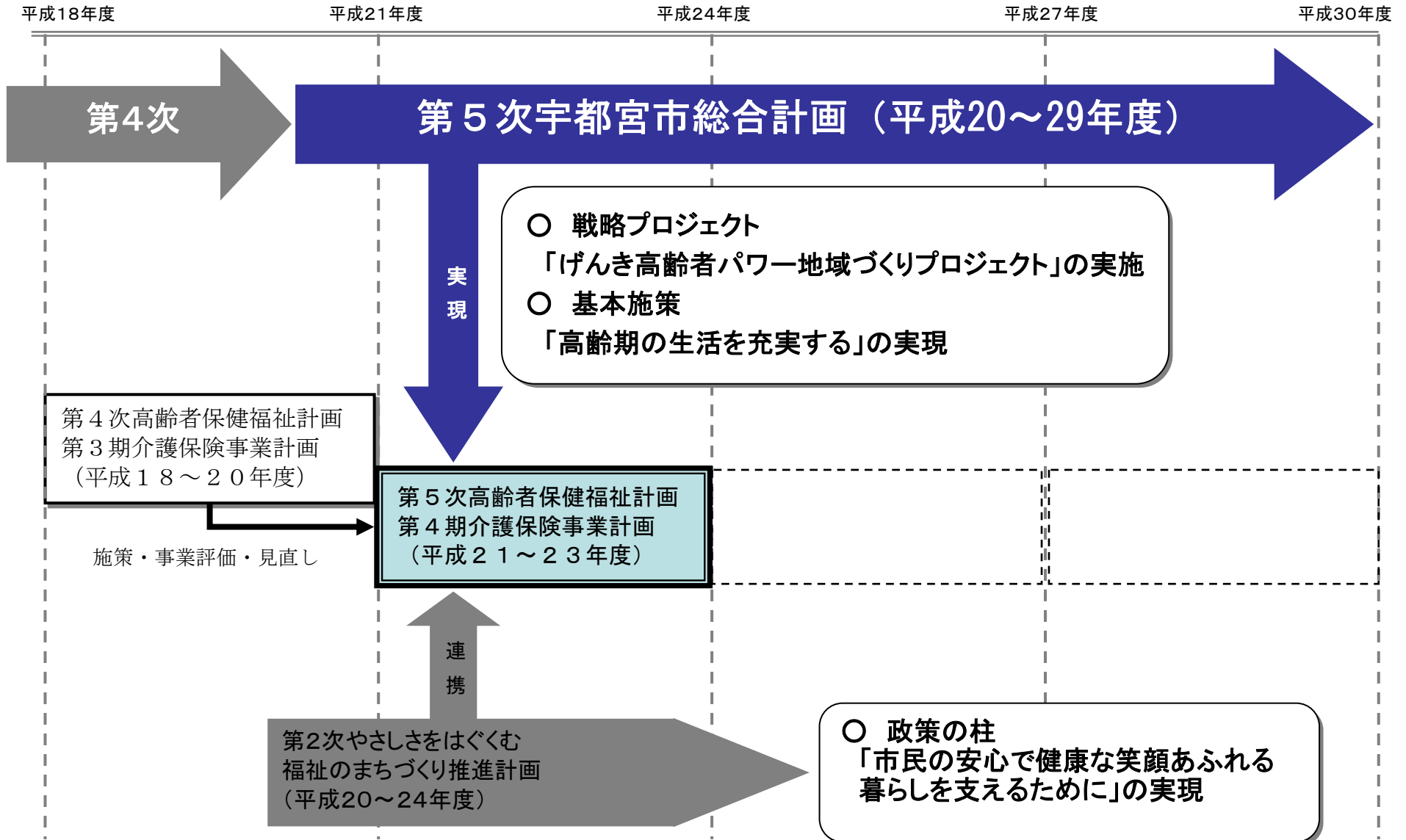
【策定体制】



【検討組織スケジュール】

回	検討事項	庁内検討組織		庁外検討組織
		検討班	策定委員会	社会福祉審議会 高齢者福祉 専門分科会
1	<ul style="list-style-type: none"> 次期計画の策定について アンケート調査の結果について 現行計画の現状と課題について 	7月7日	7月11日	7月14日
2	<ul style="list-style-type: none"> 施策内容及び主な取組について 	8月上旬	8月中旬	8月下旬
3	<ul style="list-style-type: none"> 主要な取組及び目標値について 	9月中旬	9月下旬	10月中旬
4	<ul style="list-style-type: none"> 計画（素案）について 	11月上旬	11月中旬	12月中旬
5	<ul style="list-style-type: none"> パブリックコメントの結果について 提言（案）について 計画（案）について 	1月中旬	1月下旬	2月中旬

第5次高齢者保健福祉計画・第4期介護保険事業計画策定のイメージ



別紙 3

第5次宇都宮市高齢者保健福祉計画・第4期介護保険事業計画 策定スケジュール

		平成20年										平成21年										
		2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月							
庁内	関係課長会議		①																			
	庁議部次長会議			①											②							
	策定委員会						①	②	③		④			⑤								
	策定検討会						①	②	③		④			⑤								
	テーマ別 ワーキンググループ						①	②	③		④											
	二役協議・ 正副議長報告											○										
庁外	社会福祉審議会		②				①							②								
	専門分科会				●	公募委員の募集・決定		①	②		③		④	⑤								
	提言書の受理													●								
	1,2号被保険 者アンケート		●	→	●	→		集計・分析														
	要介護認定者ア ンケート			●	→	●	→		集計・分析													
	パブリックコメント												●									
国・ 県	厚生労働省	○	基本的な考え方の提示						○	基本指針改定案の提示				●	→							
	栃木県		○	地域ケア構想の公表												○	→					
																○	→					
																		○	→			
																			○	→		
																				○	→	

アンケート調査結果の概要について

第5次宇都宮市高齢者保健福祉計画・第4期介護保険事業計画の策定に当たり、高齢者の健康づくりや生きがいづくり、高齢者福祉や介護サービスの利用意向の把握し、各種施策や事業の基礎資料とするため、次の調査を実施した。

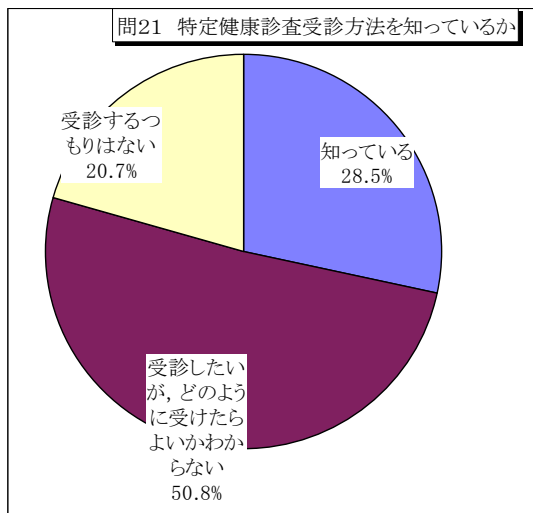
- 1 第5次高齢者保健福祉計画・第4期介護保険事業計画の策定に係るアンケート調査
 - (1) 高齢者調査（65以上の要介護認定を受けていない市民2,000人）
 - (2) 若年者調査（40歳以上65歳未満の市民1,200人）
- 2 平成20年度介護保険利用者実態調査
 - ・要介護等認定者（900人）

1 65歳以上の高齢者の状況

(1) 【特定健診の認知度】

- ・ 特定健診の認知度は、「知っている（28.5%）」が約3割であるが、「受診したいが、どのように受けたらよいかわからない（50.8%）」が5割以上もあった。

○ 特定健診の認知度



(2) 【生きがいを感じること】

- ・ 生きがいを感じることは、「スポーツ(健康づくりの運動なども含む)（21.4%）」が最も多く、「気のあった人たちとのグループ活動（19.7%）」、「学習や教養を高めるための活動（15.3%）」の順となっている。
- ・ 前回調査では「スポーツ(健康づくりの運動なども含む)」が9.5%であったが、今回調査では21.4%になっており、高齢者の健康への関心が強くなっている。

- ・ 老人クラブ活動や地域活動に生きがいを感じている人は1割以下である。また、「ボランティア活動」については、「現在活動している人（8.0%）」は少ないものの、「これからやってみたい人（12.2%）」の割合が多い。

○ 生きがいを感じること

順位	選択項目	現在の生きがい		やってみたいこと	
		人数	構成比	人数	構成比
1	スポーツ（健康づくりの運動なども含む）	373人	21.4%	249人	19.4%
2	気のあった人たちとのグループ活動	343人	19.7%	214人	16.7%
3	学習や教養を高めるための活動	267人	15.3%	217人	16.9%
4	仕事・働くこと	244人	14.0%	99人	7.7%
5	ボランティア活動	139人	8.0%	157人	12.2%
6	町内会や自治会の活動・世話	126人	7.2%	61人	4.7%
7	老人クラブの活動	124人	7.1%	74人	5.8%
8	まちづくりや環境保全などに関する活動	56人	3.2%	110人	8.6%
9	地域の児童等に関わる活動（子ども会・PTAなど）	38人	2.2%	54人	4.2%
10	青少年の教育や健全育成に関する活動	23人	1.3%	45人	3.5%

（3）【地域とのかかわり】

- ・ 地域とのかかわりは、「仲の良い人と行き来している」「会えば親しく話をする人がいる」が6割以上となっている。
- ・ 一方、「近所づきあいをほとんどしていない（2.9%）」は、前回同様3%未満となっているが、「あいさつする程度（30.1%）」は前回比べて2.9ポイント上昇した。

○ 地域とのかかわり

選択項目	平成20年度		平成17年度	
	人数	構成比	人数	構成比
会えば親しく話をする人がいる	474人	38.2%	649人	34.3%
あいさつする程度	374人	30.1%	515人	27.2%
近所の仲の良い人とよく行き来している	358人	28.8%	676人	35.7%
近所づきあいをほとんどしていない	36人	2.9%	54人	2.9%
無回答	36人	-	154人	-
合計	1,278人	100.0%	2,048人	100.0%

（4）【介護予防事業の認知度】

- ・ 介護予防に関する取り組みの認知度は、「訪問指導（59.4%）」「健康相談（50.4%）」がともに半数を超えているが、それ以外は、半数を下回る結果となっている。
- ・ 今後利用したい事業は、「介護予防手帳（62.6%）」「生活機能評価（62.4%）」「通所型介護予防事業（60.1%）」が6割を越えている。

○ 介護予防事業の認知度

選択項目	知っている		利用したことがある				今後利用したい	
	人数	構成比	人数	構成比	利用して満足		人数	構成比
					人数	構成比		
訪問指導	310人	59.4%	15人	2.9%	9人	60.0%	188人	36.0%
健康相談	295人	50.4%	18人	3.1%	9人	50.0%	263人	45.0%
介護予防教室	366人	46.0%	48人	6.0%	33人	68.8%	349人	43.8%
健康教育・講演会	214人	45.7%	19人	4.1%	9人	47.4%	226人	48.3%
通所型介護予防事業	150人	37.9%	6人	1.5%	2人	33.3%	238人	60.1%
介護予防手帳	106人	34.8%	6人	2.0%	2人	33.3%	191人	62.6%
生活機能評価	118人	33.9%	10人	2.9%	3人	30.0%	217人	62.4%

(5) 【保健福祉サービスの認知度】

- 保健福祉サービスの認知度は、11事業中7事業は5割を越えており、「生きがい対応型デイサービス(68.3%)」が最も高くなっているが、4事業が5割に満たない状況にあり、「はり、きゅう、マッサージ施術料助成(39.5%)」が最も低い。

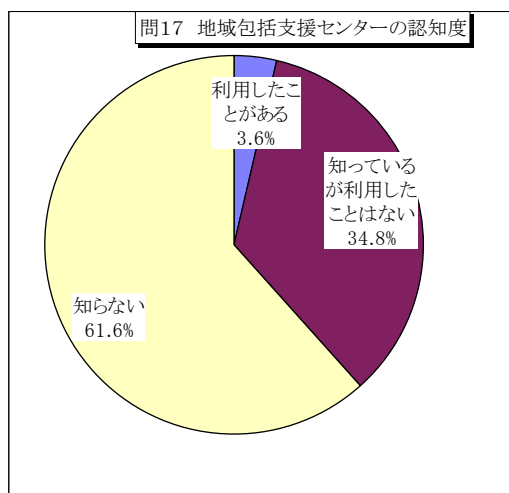
○ 保健福祉サービスの認知度

選択項目	知っている		利用したことがある				今後利用したい	
	人数	構成比	人数	構成比	利用して満足		人数	構成比
					人数	構成比		
生きがい対応型デイサービス	427人	68.3%	3人	0.5%	2人	66.7%	193人	30.9%
高齢者短期宿泊事業	383人	64.0%	4人	0.7%	1人	25.0%	210人	35.1%
高齢者無料入浴券の交付	159人	62.1%	1人	0.4%	1人	100.0%	95人	37.1%
日常生活用具給付貸与事業	212人	58.1%	0人	0.0%	0人	0.0%	153人	41.9%
高齢者にやさしい住環境整備事業	287人	56.8%	6人	1.2%	2人	33.3%	210人	41.6%
緊急通報システム	244人	55.6%	0人	0.0%	0人	0.0%	194人	44.2%
健康に関するイベント	324人	54.9%	34人	5.8%	15人	44.1%	217人	36.8%
高齢者等ホームサポート事業	172人	48.7%	1人	0.3%	0人	0.0%	180人	51.0%
地域で健康づくり活動や講習会	252人	48.4%	29人	5.6%	16人	55.2%	224人	43.0%
高齢者専用バスカードの購入費助成	365人	42.5%	97人	11.3%	76人	78.4%	321人	37.4%
はり、きゅう、マッサージ施術料助成	246人	39.5%	43人	6.9%	36人	83.7%	297人	47.7%

(6) 【地域包括支援センターの認知度】

- 地域包括支援センターの認知度は、「利用したことがある(3.6%)」と「知っているが利用したことはない(34.8%)」を合わせると、「知っている」が約4割になるのに対して、「知らない(61.6%)」が約6割となっている。

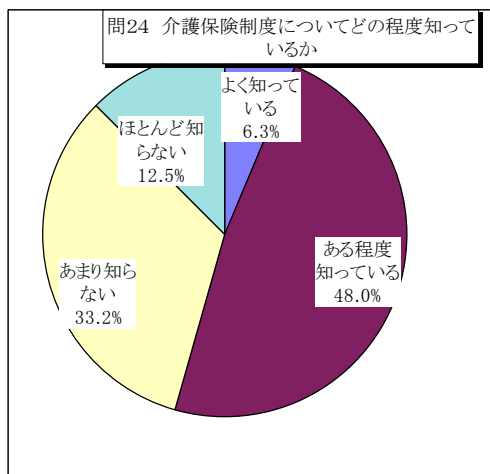
○ 地域包括支援センターの認知度



(7) 【介護保険制度の認知度】

- ・ 介護保険制度の認知度は、「よく知っている(6.3%)」「ある程度知っている(48.0%)」を合わせると約半分の 54%であることから、高齢者の2人に1人は介護保険を知っていると答えている。
- ・ 一方、「あまり知らない(33.2%)」「ほとんど知らない(12.5%)」を合わせると約45%となっている状況である。

○ 介護保険制度の認知度



(8) 【住まいで不便に感じたり困っていること】

- ・ 高齢者が住まいで不便を感じたり困っていることについては、「特にない(40.0%)」が最も多く、不便や困っている具体的な内容については、「住宅が老朽化している(11.7%)」「交通の便が悪い(11.5%)」の順となっている。

○ 住まいで不便に感じたり困っていること

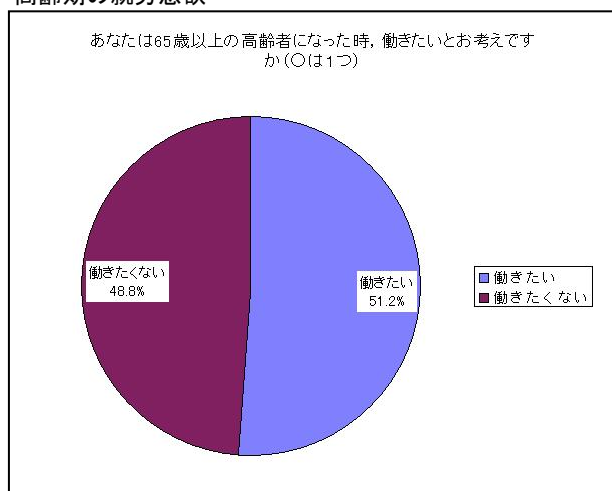
順位	選択項目	平成20年度調査結果	
		人数	構成比
1	特にない	598人	40.0%
2	住宅が老朽化している	175人	11.7%
3	交通の便が悪い	172人	11.5%
4	玄関まわりの段差で困っている	77人	5.2%
5	環境が悪い（日当たり，風通し，騒音など）	76人	5.1%
6	近くに散歩に出るようなところがない	76人	5.1%

2 若年者（40歳以上65歳未満）の状況

(1) 【高齢期の就労意欲】

- ・ 高齢期の就労意欲は、「働きたい（51.2%）」と答えた人は、「働きたくない（48.8%）」と答えた人に比べて2.4ポイント上回っている。
- ・ 前回調査では、「働きたくない（50.3%）」が「働きたい（49.7%）」をわずかで上回ってはいるが0.6ポイント上回った結果となっていたが、今回は「働きたい」が上回った。

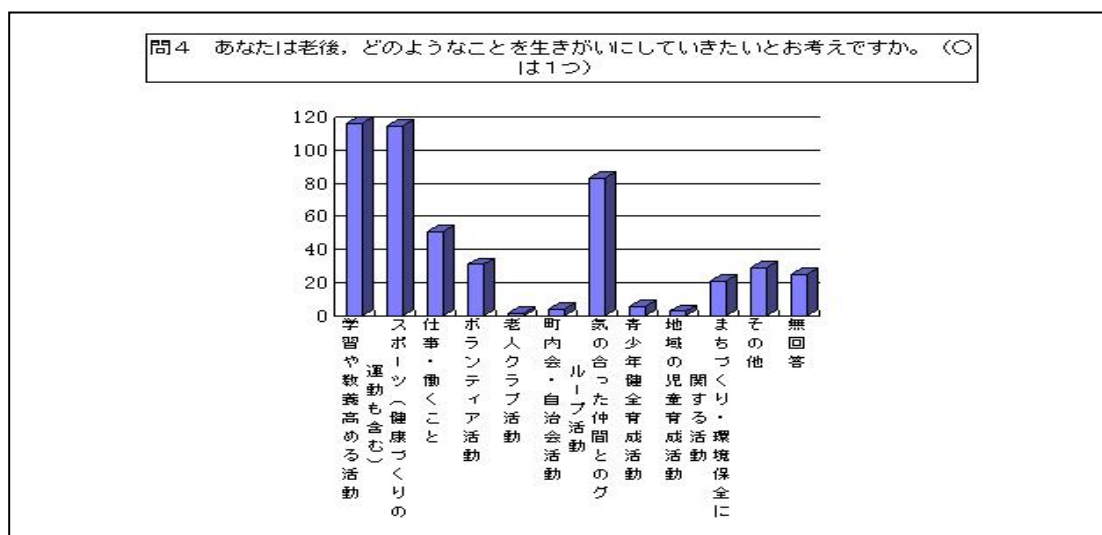
○ 高齢期の就労意欲



(2) 【生きがいづくり】

- ・ 生きがいづくりは、「学習や教養を高める活動（23.9%）」が最も多く、「スポーツ（23.5%）」「気の合った仲間とのグループ活動（17.1%）」の順となっている。
- ・ 一方で、「老人クラブ活動（0.4%）」が最も少なく、「地域の児童育成活動（0.7%）」「町内会・自治会活動（0.9%）」と、地域活動を希望する人の割合がとも少ない。

○ 生きがいづくり



(3) 【介護を支える人づくりに重要なこと】

- ・ 介護を支える人づくりに重要なことは、「シルバービジネス、福祉産業の育成 (27.8%)」が最も多く、「学校や教育機関での福祉教育の充実 (25.2%)」「地域における若年層と高齢者の交流の場づくり (17.3%)」の順となっている。

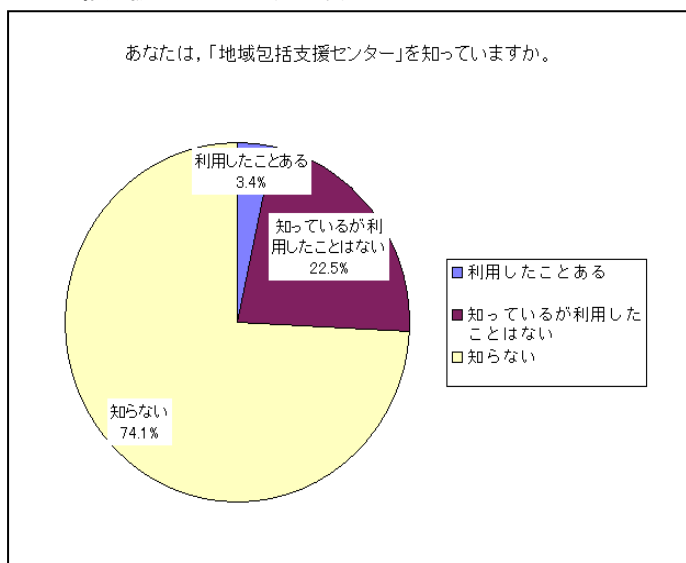
○ 介護を支える人づくりに重要なこと

順位	選択項目	人数	構成比
1	シルバービジネス、福祉産業の育成	135人	27.8%
2	学校や教育機関での福祉教育の充実	122人	25.2%
3	地域における若年層と高齢者の交流の場づくり	84人	17.3%
4	ボランティアの場やPR	45人	9.3%
5	市民講座等での福祉教育や啓発活動の推進	29人	6.0%
6	企業・事業者に対する啓発	26人	5.4%

(4) 【地域包括支援センターの認知度】

- ・ 地域包括支援センターの認知度は、25.9%であり、4人に3人はセンターを知らない状況にある。

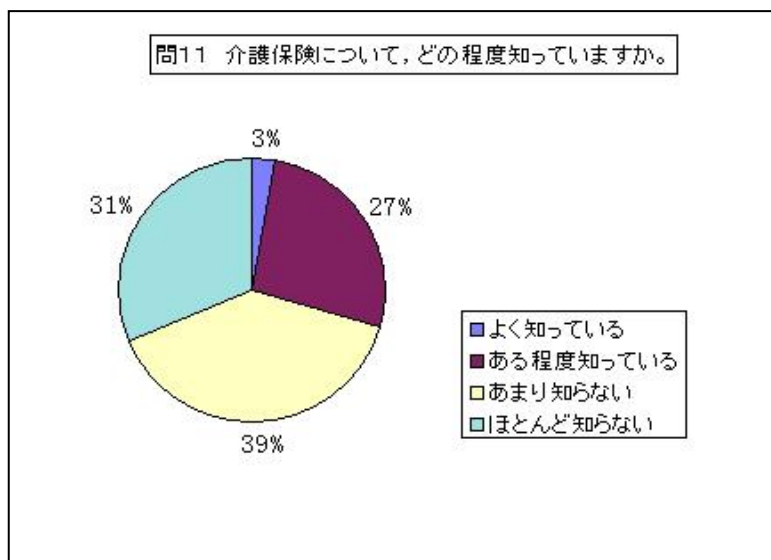
○ 地域包括支援センターの認知度



(5) 【介護保険制度の認知度】

- ・ 介護保険制度の認知度は、「よく知っている (2.7%)」, 「ある程度知っている (26.7%)」を合わせた29.4%であり、「あまり知らない (39.2%)」と「ほとんど知らない (31.4%)」と合わせると、70.6%の人が「知らない」結果となった。
- ・ 前回調査では、72.8%が「知らない」と答えており、2.8ポイント上昇した。

○ 介護保険制度の認知度



3 要介護認定者の状況

(1) 【主な介護者】

- ・ 主な介護者は、男性は妻の割合が圧倒的に高いが、女性は娘や息子の配偶者の割合が高い。
- ・ また、介護者内訳は、妻や娘、息子の配偶者（嫁）など、女性の割合が約 56.3% となっている。

○ 主な介護者

選択項目	総計		男		女	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
配偶者（夫）	91	10.1%	1	0.3%	90	14.9%
配偶者（妻）	164	18.2%	153	51.7%	11	1.8%
息子	99	11.0%	9	3.0%	90	14.9%
娘	174	19.3%	46	15.5%	128	21.2%
息子の配偶者（嫁）	169	18.8%	26	8.8%	143	23.7%
娘の配偶者（婿）	5	0.6%	2	0.7%	3	0.5%
その他の親族	38	4.2%	12	4.1%	26	4.3%
ホームヘルパー等の介護の専門家	60	6.7%	24	8.1%	36	6.0%
いない	67	7.4%	17	5.7%	50	8.3%
その他	16	1.8%	2	0.7%	14	2.3%
無回答	17	1.9%	4	1.4%	13	2.2%
合計	900	100.0%	296	100.0%	604	100.0%

(2) 【介護サービスの利用状況】

- ・ 介護サービスの利用状況は、要介護認定申請区分が更新・変更申請者のうち、50% が介護サービスを利用しており、サービスを利用していない人は 27% となっている。

○ 介護サービスの利用状況

選択項目	総計		男		女	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
利用していない	245	27%	87	29%	158	26%
利用予定なし（新規申請者）	38	4%	18	6%	20	3%
利用予定（新規申請者）	163	18%	60	20%	103	17%
利用している	453	50%	131	44%	322	53%
無回答	1	0%	0	0%	1	0%
合計	900	100%	296	100%	604	100%

(3) 【ケアプランの満足度】

- ・ ケアプランの満足度は、「満足している（61.1%）」と「ほぼ満足している（26.3%）」の合計は、87.4%と8割を超えている。

○ ケアプランの満足度

選択項目	回答数	構成比
満足している	277	61.1%
ほぼ満足している	119	26.3%
どちらでもない	21	4.6%
やや不満を感じる	11	2.4%
不満である	3	0.7%
無回答	22	4.9%
計	453	100.0%

(4) 【今後利用したいサービス】

- ・ 今後利用したいサービスは、「通所介護（34.4%）」が最も多く、「訪問介護（24.7%）」、「福祉用具貸与（17.5%）」の順となっている。

○ 今後利用したいサービス

選択項目	利用したい		増やしたい		減らしたい		利用しない		わからない		無回答		合計	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
訪問介護（ホームヘルプサービス）	152	24.7%	27	4.4%	0	0.0%	88	14.3%	70	11.4%	279	45.3%	616	100.0%
訪問入浴介護	9	1.5%	4	0.6%	2	0.3%	156	25.3%	85	13.8%	361	58.6%	616	100.0%
訪問看護	30	4.9%	5	0.8%	2	0.3%	150	24.4%	81	13.1%	350	56.8%	616	100.0%
訪問リハビリテーション	7	1.1%	1	0.2%	2	0.3%	155	25.2%	83	13.5%	371	60.2%	616	100.0%
通所介護（デイサービス）	212	34.4%	41	6.7%	2	0.3%	79	12.8%	46	7.5%	240	39.0%	616	100.0%
通所リハビリ（デイケア）	50	8.1%	9	1.5%	1	0.2%	135	21.9%	82	13.3%	344	55.8%	616	100.0%
特養への短期入所	60	9.7%	5	0.8%	2	0.3%	139	22.6%	77	12.5%	339	55.0%	616	100.0%
老健施設への短期入所	27	4.4%	1	0.2%	2	0.3%	149	24.2%	82	13.3%	362	58.8%	616	100.0%
居宅管理指導	8	1.3%	2	0.3%	2	0.3%	149	24.2%	89	14.4%	374	60.7%	616	100.0%
福祉用具貸与	108	17.5%	1	0.2%	2	0.3%	107	17.4%	78	12.7%	329	53.4%	616	100.0%
認知症対応型通所介護	1	0.2%	0	0.0%	2	0.3%	158	25.6%	88	14.3%	377	61.2%	616	100.0%
小規模多機能型居宅介護	4	0.6%	1	0.2%	2	0.3%	157	25.5%	88	14.3%	375	60.9%	616	100.0%
夜間対応型訪問介護	3	0.5%	1	0.2%	2	0.3%	158	25.6%	87	14.1%	377	61.2%	616	100.0%

(5) 【利用料の月平均自己負担額】

- ・ 介護サービス利用料の月平均自己負担額は、10,000円台が最も高くなっているが、次に2,000円台となっており、10,000円以下が半数を占めている。

○ 利用料の月平均自己負担額

